

北陸エリアでドラッグストア・量販向け物流を拡大 ～センコー金沢第2PDセンターを開設、太陽光発電 PPAモデルの導入で再生エネルギー活用を推進～

センコーグループホールディングス株式会社(本社:東京都江東区、社長:福田 泰久、以下「センコーGHD」)は、6月30日に「センコー金沢第2PDセンター」(石川県白山市、以下「新センター」)を開設しました。

新センターは、センコーGHDが建設したもので、傘下の事業会社であるセンコー株式会社(本社:大阪市北区、社長:杉本 健司、以下「センコー」)が施設を賃借し運営する、3例目の物件となります。



センコー金沢第2PDセンター外観

新センターは、北陸自動車道「美川IC」「白山IC」より約6km、「徳光スマートIC」より約5km、金沢市内まで約30分と好アクセスで、白山市は北陸3県(福井、富山、石川)のほぼ中央にあることから、北陸エリア全域への商品供給拠点として、高い利便性が期待できます。2010年にセンコーが開設した金沢PDセンターの隣接地にあり、繁忙時は人員の応受援もスムーズに対応できます。

センコー北陸支店は、以前は繊維・食品系物流が中心を占めていましたが、2018年に北陸エリアで初のドラッグストア向けTCセンターを開設し、以降はドラッグストアをはじめ量販・小売物流を順調に伸長させてきました。新センターは、ケースソーターや移動ラックなどの充実した設備により、既存顧客の物流ニーズを取り込むとともに、ドラッグストアや量販・小売物流でさらなる新規顧客の獲得につなげていく考えです。

また、センコーと京セラ株式会社(本社:京都市伏見区、社長:谷本 秀夫)、エフビットコミュニケーションズ株式会社(本社:京都市南区、代表取締役社長:吉本 幸男)の3社は、新センターでの再生可能エネルギーの自家消費を目的としたPPAサービス(※)による太陽光発電設備の導入に向け進めており、8月から運用開始を予定しています。

本取り組みによって新センターの電力を賅うとともに、余剰電力を電力小売事業の電源として有効活用し、低炭素化・脱炭素化の実現および再生可能エネルギー比率の向上を目指します。

センコーは、新センター開設により既存顧客の物流ニーズを取り込むとともに、近年拡大が続くドラッグストア物流の新規獲得による北陸エリア全体の事業拡大と、太陽光発電PPAモデルによる低炭素化・脱炭素化の実現に向けて取り組んでまいります。

※PPAサービス: 施設所有者が無償提供する屋根などのスペースに、発電設備の所有・管理を行う会社(PPA事業者)が設置した設備で発電した電力を施設所有者へ有償提供するもの。

<センコー金沢第2PDセンターの概要>

- | | | |
|---------|---|---|
| 1. 所在地 | : | 石川県白山市村井町2640 |
| 2. 建物構造 | : | 鉄骨造 地上4階建て |
| 3. 敷地面積 | : | 18,032㎡ |
| 4. 延床面積 | : | 34,654㎡ |
| 5. 設備 | : | 貨物用エレベーター 3台、垂直搬送機 6台、クライミングレベラー 2台、ケースソーター、移動ラック、太陽光パネル、EV充電設備(乗用車用) |

<関連リンク>

・プレスリリース「北陸地区最大級の大型物流拠点が来夏完成～センコー金沢第2PDセンター起工式を開催～」
(2022/6/30)

<https://www.senkogrouphd.co.jp/about/news/assets/59d90be78a91b99e9bf9a3a05f5291e1e55910d8.pdf>

以上